

ECセンターの あゆみ 3

2008年～2018年／平成20年～平成30年

2019年7月

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA)
ECセンター

JEITA ECセンターのあゆみ 3 (2009~2018)

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2009年 (平成21年)	組織	● ECセンターは2003年5月にJEITAの関連組織として発足し、本年4月にJEITAの正式職制となる
	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員企業が海外取引でECALGAを活用できるように、「海外通常取引モデル／ドラフト版」を発行 ● 環境情報の流通を海外企業や海外現地法人でも円滑に行えるように、AIS作成支援ツールおよびマニュアルを翻訳（英語、中国語）しHPで公開 ● ASP標準化WGにて、いずれか一つのASPに接続すれば、どのユーザとも情報連携が実現できる環境を提供するために、「ASP間運用標準ガイドライン／システム編」を発行 ● ebXML仕様のサーバと容易に通信が可能な「JEITA共通クライアント」 ebMS3.0対応版を開発し6月に公開
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALGA標準セミナー（140名出席）を7月に、ECALGA実用化セミナー（130名出席）を11月に開催 ● ECM普及促進TFにて、技術情報交換の導入ガイドおよび関連標準を広く普及させるために、先行導入企業の実例デモやECMお試しWebサイトの提供を実施 ● ECALS活用TFにて、各社のECALS辞書、部品情報コンテンツ等の部品・技術情報利用状況を把握し実用化に向けた課題整理等を実施
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデル技術の標準化交流を目的に、11月にIBISサミット日本会議を開催 ● ECALS辞書Ver10.1に対応したKEA（韓国）とのマッピング辞書（ECALS_KEAmapdicVer8.1）を作成し12月に公開
	業際対応	● 自動車業界との業際化を推進するため、経済産業省の「ビジネスインフラ整備事業」に参画し業界横断EDI仕様を作成し実証実験を実施
	実証実験	● 環境情報流通実証実験TFにて、環境課題への対応として欧州REACH規則で制限される含有化学物質の情報を企業間で円滑に流通／共有するための環境情報流通実証実験を7月に実施

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2010年 (平成22年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ECALGA標準 2010年度版」の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外取引モデルを正規標準書化（海外所要計画情報／海外注文情報等 全13ビジネスドキュメント） ・ JEITAシンボル標準を改訂（C-3ラベルに2次元シンボルを適用） ● これまで別管理していた「ECALS辞書」と「環境辞書」をECALGA標準体系に則り標準書に掲載 ● ebXML仕様のサーバと容易に通信が可能な「JEITA共通クライアント（ebMS3.0対応）」については、Windows 7（Java1.6）対応版を提供
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALGA標準セミナー（110名出席）を7月に、ECALGA実用化セミナー（120名出席）を1月に開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2009年度の経産省ビジネスインフラ整備実証実験の報告（7月） ・ Web-EDI認定制度／ASP連携ガイドラインなどを紹介（1月）
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデルの標準化交流として6月のIBISサミット米国会議に参加し、11月にはIBISサミット日本会議を開催 ● ECALS辞書Ver12.1に対応したKEA（韓国）とのマッピング辞書（ECALS_KEAmapdicVer10.1）案を作成し、韓国へ送付
	業際対応	● 自動車業界／自動車部品業界、石油化学業界との協調連携活動を開始し、自動車部品工業会の一部企業とECセンター会員企業との間で実運用開始
実証実験	<ul style="list-style-type: none"> ● 中小規模受注企業の利便性を向上するための単一ユーザーインターフェース／ASP間連携機能をベースに環境および技術情報交換の実証実験を実施 ● 中小企業への環境情報／技術情報交換の普及拡大に向け、XMLメッセージの作成支援ツールおよびXML/CII相互変換ツールを開発し実証実験を実施 ● 環境情報流通実証実験TFにて、環境情報のみならずECALS部品情報などの技術情報交換の実証実験を実施 	

* JEITA ECセンターの活動は年度単位で記載

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時	日本での主な出来事	世界での主な出来事
会 長 江南 清司氏 TDK(株) 取締役専務執行役員 副会長 峯村 正樹氏 (株)東芝 ISセンター センター長 大山 高氏 (社)電子情報技術産業協会 理事	<ul style="list-style-type: none"> ● 鹿児島市の桜島が爆発的噴火 ● 北朝鮮が日本の上空を通過するミサイルを発射 ● 裁判員制度による初の裁判が始まる ● エコポイントスタート ● 自民党から民主党に政権交代し鳩山由紀夫内閣発足 ● 日本が国際連合安全保障理事会の非常任理事国となる 	<ul style="list-style-type: none"> ● バラク・オバマ氏が、第44代アメリカ合衆国大統領に就任 ● オバマ米大統領、ノーベル平和賞受賞 ● 世界保健機構 (WHO) が新型インフルエンザの警戒水準を最高のフェーズ6に引き上げ、パンデミックを宣言 (1968年の香港かぜ以来、41年ぶり) ● マイケルジャクソン氏が死去 ● Windows 7 発売

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時	日本での主な出来事	世界での主な出来事
会 長 峯村 正樹氏 (株)東芝 ISセンター センター長 副会長 後呂 眞次氏 (株)村田製作所 常務執行役員 大山 高氏 (社)電子情報技術産業協会 理事	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本年金機構が発足 (社会保険庁廃止) ● 小惑星イトカワ着陸の探査機「はやぶさ」が7年ぶりに地球に帰還 ● 鳩山首相が辞任、菅直人氏が第94代首相に就任 ● 北海道大学名誉教授鈴木章氏、米国パデュー大学特別教授根岸英一氏がノーベル化学賞受賞 ● 東北新幹線、新青森まで全線開通 	<ul style="list-style-type: none"> ● ハイチでM7.0の大地震発生 (死者22万人以上) ● バンクーバー冬季オリンピック開催 ● 上海万博開催 ● FIFAワールドカップ・南アフリカ大会開催

* 日本・世界の主な出来事は暦年単位で記載

JEITA ECセンターのあゆみ 3 (2009~2018)

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2011年 (平成23年)	組 織	● 公益法人改革に伴いJEITAが一般社団法人に移行 (4月)
	標準改訂	● 新たに運用ルールを規定し「ASP間運用標準ガイドライン (ebXML) Version2.0」を発行 ● ebXML仕様のサーバと容易に通信が可能な「JEITA共通クライアント (ebMS3.0対応)」のユーザ利便性の向上策版 (Ver2.1) を提供 ● Web-EDI標準認定推進WGにて、Web-EDI標準認定基準の見直しを行い、新基準に基づく「Web-EDIガイドラインVersion2.0」を発行、これに合わせて認定マークの見直しを実施
	普及活動	● ECALSデータ作成支援ツールをECALGA実用化セミナー、ロゼッタネットジャパン (RNJ) / 部品技術情報流通 (R&R) セミナーで紹介 ● ECALGA実用化セミナー (120名出席) を2月に開催
	国際対応	● IBIS Quality Frameworkの普及策として「ISIシミュレーション・モデル解説書」を発行し、CEATEC Japan (10月)、EDS Fair 2011 (11月) に出展 ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデルの標準化交流として6月のIBISサミット米国会議に参加し、11月にはIBISサミット日本会議を開催 ● ECALS辞書に関し国際標準化機関対応として、IEC/SC3D国際会議に参加し、IEC61360への提案を表明し国際提案を実施
	業際対応	● 自動車業界との業際化を推進するため、業際協調TFを立上げ、業際連携を行うための課題・条件や取組み方などの活動方針を策定
	実証実験	● ASP間運用標準ガイドラインに「運用ルール」を追加し、単一ASP接続/ASP間連携機能をベースに環境および技術情報交換の実証実験を実施 ● XMLメッセージの作成支援ツールおよびXML/CII変換ツールを開発し実証実験を実施
	その他	● 電子商取引の普及や企業間取引情報の標準化の推進を図り、自動車業界との業際EDI化を実現し、業界横断情報連携の大きな礎を構築したことにより、SCM委員会、情報技術委員会、業際協調TFがJEITA会長賞を受賞

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2012年 (平成24年)	標準改訂	● 「ECALGA標準 2012年度版 (Ver2012A-Rev01/Ver-01)」を発行 ● ebXML仕様のサーバと容易に通信が可能な「JEITA共通クライアント (ebMS3.0対応)」のユーザ利便性の向上策版 (Ver2.2) を提供 ● ECALS辞書をバージョンアップ (Ver14.1) し、技術情報交換モデルを全面改訂し新ECM標準として公開 ● ASP標準化WGおよびECALGA整合性検討TFとの連携により、ECALGA標準書 (技術編) の改訂を実施
	普及活動	● ECALGA 実用化セミナー (100名出席) を1月に開催
	国際対応	● ECALS実用化推進TFにて、ECALS情報のBtoB交換実用化の活動を開始 ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデルの標準化交流として6月のIBISサミット米国会議に参加し、11月にはIBISサミット日本会議を開催 ● IEC/SC3D/WG2が韓国で開催され、技術標準専門委員会が参加しECALS辞書のグローバルな実用化を推進
	実証実験	● XMLメッセージの作成支援ツールおよびXML/CII変換ツールを改修し、その有効性について実証実験を実施 ● BtoBにおける技術情報交換 (ECALS) の実証実験をパイヤ4社とサプライヤ3社、コンテンツサービス1社およびASP2社と実施 ● ECM委員会とECALS実用化推進TFが共同で、部品技術情報交換の実証実験を実施 ● 欧州REACH規則で制限される含有化学物質の情報や、ECALS辞書に基づく部品技術の情報を企業間で円滑に流通するための新ECM標準を策定し、実証実験を実施

* JEITA ECセンターの活動は年度単位で記載

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時	日本での主な出来事	世界での主な出来事
会長 後呂 眞次氏 (株)村田製作所 専務執行役員 副会長 竹田 弘康氏 富士通(株) 執行役員 購買本部長 高田 範雄氏 (一社)電子情報技術産業協会 理事	<ul style="list-style-type: none"> ● 東日本大震災、三陸沖震源 M9.0発生。地震・津波で岩手、宮城、福島で破壊的被害発生／東電福島第一原発の炉心冷却システム停止で初の「原子力緊急事態宣言」発令 ● 「小笠原諸島」と「平泉」が世界遺産に登録 ● FIFA女子ワールドカップドイツ大会で「なでしこジャパン」が初優勝 ● アナログ放送終了、地上デジタル放送へ完全移行 ● 菅首相が辞任、野田佳彦氏が第95代首相に就任 	<ul style="list-style-type: none"> ● ITUは世界のインターネット利用者が20億人、携帯電話契約件数が50億件突破と発表 ● 米軍 オsama・ビンラディン殺害 ● リビアの反体制派、カダフィ大佐殺害 ● 米アップルのスティーブ・ジョブズ前CEOが死去 ● 国連推計により世界人口が70億人に到達 ● 北朝鮮 金正日総書記死亡 ● 製造業のコンピュータ化を促進するドイツ連邦政府のハイテク戦略の中のプロジェクトとして「Industry (インダストリー) 4.0」が誕生

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時	日本での主な出来事	世界での主な出来事
会長 竹田 弘康氏 富士通(株) 執行役員 購買本部長 副会長 米谷 信彦氏 アルプス電気(株) 常務取締役 管理本部長 高田 範雄氏 (一社)電子情報技術産業協会 理事	<ul style="list-style-type: none"> ● 復興庁発足 ● 東京スカイツリーが開業 ● 日本各地で金環日食が観測。(関東では173年ぶり) ● ノーベル生理学・医学賞に京都大学教授山中伸弥氏が受賞 ● レスリングの吉田沙保里氏が国民栄誉賞を受賞 ● 野田首相が辞任、安倍晋三氏が第96代首相に就任 	<ul style="list-style-type: none"> ● スマトラ島でM8.7の巨大地震発生 ● ロンドンオリンピック開催 ● Windows 8 発売 ● EU欧州連合がノーベル平和賞受賞 ● バラク・オバマ氏が、アメリカ合衆国大統領に再選

*日本・世界の主な出来事は暦年単位で記載

JEITA ECセンターのあゆみ 3 (2009~2018)

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2013年 (平成25年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALS辞書のバージョンアップ (Ver15.1) を実施 ● 技術情報交換モデルを一部改訂し、「ECALGA標準2012年度版 (ECM (Ver2012A-Rev02))」および「ECALGA導入ガイド (技術情報交換編)」の改訂版を発行 ● 「ECALGA標準 海外取引モデル 英語版・中国語版 (Ver-01)」を発行 ● JAMP管理対象物質検索リスト (Ver4.00) の改訂に伴い、最新版リストをJEITA_AIS作成支援ツールへの組み込みを実施
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALGA 実用化セミナー (100名出席) を11月に開催 ● ECALSデータの作成および活用の際に利用者から直接コンタクトできるよう、「ECALSお試しサイト」にコンテンツ活用事例とJEITA支援内容の紹介および問い合わせコーナーを設置 ● ユーザの利便性を考慮し、問い合わせの多い帳票、特にC-3ラベル仕様をHPに掲載
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデルの標準化交流として6月のIBISサミット米国会議に参加し、11月にはIBISサミット日本会議を開催 ● IEC/SC3D/WG2がチェコで開催され、技術標準専門委員会が参加しECALS辞書のグローバルな実用化を推進
	業際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALSの普及を目的に、4月に日本半導体商社協会 (DAFS)、7月に日本自動車部品工業会 (JAPIA) にECALS活用事例を紹介
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● JEITA総合政策部会「責任ある鉱物調達検討会」からの要請により、サプライチェーンにおける企業間の調査報告フォーマットや情報連携に関して支援を実施

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2014年 (平成26年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ECALGA導入ガイド (技術情報交換編Ver5.04版)」を発行 ● ECALS辞書のバージョンアップ (Ver16.1) を実施 ● 「JEITA/ECALGA ebXML手順 実装ガイドライン (Ver2.0版)」を発行
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALGAセミナー (100名出席) を3月に開催
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデルの標準化交流として6月のIBISサミット米国会議に参加し、11月にはIBISサミット日本会議を開催 ● 国際標準化機関対応として、IEC/SC3D国際会議に参加し、IEC61360へのECALS辞書 (半導体デバイス) を提案
	業際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本自動車工業会 (JAMA) を訪問し、ECALSに関する説明会を実施 (JAMA国際標準検討会の場で紹介)
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来VISION検討TFを立上げ、ECの変遷、現状、近未来のECの全体像、将来の活動方向の検討を実施 ● JEITAのIECに対する継続的貢献に対し、技術標準専門委員会主査がIEC1906賞を受賞

* JEITA ECセンターの活動は年度単位で記載

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時		日本での主な出来事	世界での主な出来事
会長 米谷 信彦氏	アルプス電気(株) 専務取締役 管理本部長	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットによる選挙運動解禁 ● 富士山が世界文化遺産に登録 ● 元横綱大鵬 故納谷幸喜氏と元プロ野球 長嶋茂雄氏、松井秀喜氏に国民栄誉賞を受賞 ● 高知県四万十市で、日本国内観測史上最高気温41.0度を観測 ● 国の借金1,000兆円突破 ● 「和食」の食文化を無形文化遺産に登録 	<ul style="list-style-type: none"> ● 北朝鮮が、3回目の地下核実験を実施 ● 全国人民代表大会で、中国の新しい国家主席に習近平・中国共産党総書記が選出 ● イギリスのマーガレット・サッチャー元首相死去 ● 2020年夏季オリンピックの開催都市に東京を選出
副会長 大森紳一郎氏	(株)日立製作所 執行役常務 調達統括本部長		
高田 範雄氏	(一社)電子情報技術産業協会 理事		

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時		日本での主な出来事	世界での主な出来事
会長 大森紳一郎氏	(株)日立製作所 執行役常務 調達統括本部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本一高層ビルの「あべのハルカス」が開業 ● 消費税が5%→8%に増税 ● 富岡製糸場と絹産業遺産群を世界文化遺産に登録 ● ノーベル物理学賞に名城大学終身教授赤崎勇氏、名古屋大学教授天野浩氏、カリフォルニア大学教授中村修二氏が受賞 ● 和紙日本の手漉き和紙技術を無形文化遺産に登録 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソチ冬季オリンピック開催 ● 西アフリカでエボラ出血熱流行 ● FIFAワールドカップ・ブラジル大会開催 ● iPhone 6発売
副会長 桃塚 高和氏	TDK(株) 執行役員 経理財務・業務改革プロジェクト担当		
高田 範雄氏	(一社)電子情報技術産業協会 理事		

* 日本・世界の主な出来事は暦年単位で記載

JEITA ECセンターのあゆみ 3 (2009~2018)

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2015年(平成27年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 消費税法改正によるリバースチャージ方式の導入により、消費税区分への「特定課税取引」区分を追加し、INCOTERMS（国際商業会議所が制定した貿易条件）の使用例について改訂を実施 ● ECALS辞書Ver17.1を11月に公開 ● ECM標準の大幅改定を反映した標準記述ガイドの改訂を6月に完了し「ECALGA標準記述ガイド（Ver2.1版）」として発行 ● ECALGAの全体像を理解してもらうために、標準化の目的、構造、特徴、EIAJ-EDI標準からの変遷、関連用語集を整備し「ECALGA標準入門解説書」を6月に発行
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 米EIA/IBISフォーラムとのEDAモデルの標準化交流として6月のIBISサミット米国会議に参加し、11月にはIBISサミット日本会議を開催 ● 国際標準化機関対応として、IEC/SC3D国際会議に参加し、IEC61360へのECALS辞書を提案 ● 2015年12月に「integrated circuit for power supply」4クラスがIEC 61360/CDDに登録 これを以って2011年にJEITA ECセンターが計画した全19クラスの国際規格化が完了 ● EDI調査TFにおいて、ECセンターの今後の活動を検討するため、国内隣接業界（ヘルスケア、ロボット、電力）の現状や取組み調査および国際化対応としてEDIFACE（ベルギー）を訪問し、標準化活動に関する情報交換を実施し、SupplyOn社（ドイツ）におけるIndustry4.0の状況調査を実施
	業際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● EDI連携について、各業界団体（ヘルスケア、ロボット、電力）を訪問し、今後の業際連携に向けた課題・問題点を整理
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来VISION検討TFにて、将来のEDI像および企業間連携のあるべき姿を考察し、5~10年後のECセンター活動の方向性について取り纏めを実施 ● 標準書とこれに関連する出版物を明確にする為に、標準書の他、過去に発行された導入ガイド、翻訳版、調査レポートなどを一覧表に整理

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2016年(平成28年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外メッセージ見積情報の追加検討を行い、2017年度版標準書として取り纏めを実施 ● 普及促進の解決策を見出すため、メールベースのECALGA標準（ECM）の情報交換の実証実験を行い、「ECALGA導入ガイド 技術情報交換編」にメールベースの情報交換を追記し改訂版を発行 ● (一社)電子情報通信学会に業務委託したECALSとIEC CDDの辞書マッピングが9月に完了
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALGAセミナー（80名出席）を5月に開催 ● IBISモデルの普及・促進を支援するため、IBIS入門者向け解説の追加更新およびセミナー（2回）を開催
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● IBISの国際標準化団体であるIBIS Open Forum参加と11月にIBISサミットJapanを開催と入門者向けセミナーを開催し、2月にIBISサミット米国会議に参加 ● 標準化推進団体との定期的な情報交換の実施および企業の先進事例調査等を行うために、国際・業際交流TFを設置し活動を開始
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● NTTのINSネットデジタル通信モードの終了（固定電話網のIP化）に伴う企業間EDIへの影響を検討・検証し、JEITA会員企業が円滑な移行を支援するための「移行ガイドライン（暫定版）」を策定 ● 「IoT/M2Mの技術標準化、業界アライアンス最新動向」について、新世代M2Mコンソーシアム（木下氏）が講演 ● 日本発の「つながる工場」の取組みについて、インダストリアルバリューチェーンイニシアティブ（IVI）（高鹿氏）が講演

* JEITA ECセンターの活動は年度単位で記載

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時		日本での主な出来事	世界での主な出来事
会長 桃塚 高和氏	TDK(株) 執行役員 アドミニストレーション本部長 経営システム業務改革プロジェクト担当	<ul style="list-style-type: none"> ● 白鳳が33度目の優勝。昭和の大横綱大鵬の史上最多優勝回数を塗り替えた ● 北陸新幹線開業 東京～金沢間が2時間半に ● 明治日本の産業革命遺産を世界文化遺産に登録 ● マイナンバー制度スタート ● ノーベル医学生理学賞に北里大学特別栄誉教授大村智氏が受賞。ノーベル物理学賞に東京大学宇宙線研究所教授梶田隆章氏が受賞 ● 国産初のジェット旅客機が初飛行成功 	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートウォッチ Apple Watch 発売 ● アメリカで自動運転トラックの公道走行が世界で初めて認可 ● COP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）で2020年以降の地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」が採択
副会長 出間 浩氏	パナソニック(株) グローバル調達社 調達企画センターIT業務革新部 部長		
高田 範雄氏	(一社)電子情報技術産業協会 理事		

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時		日本での主な出来事	世界での主な出来事
会長 出間 浩氏	パナソニック(株) グローバル調達社 調達企画センターIT業務革新部 部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本銀行が国内で初めてマイナス金利を導入 ● 北海道新幹線が開通 東京～新函館北斗間を4時間に ● 電力自由化スタート ● 18歳選挙権施行 ● ポケモンGoでの日本配信開始 ● 国立西洋美術館を世界文化遺産に登録 ● レスリングの伊調馨氏が国民栄誉賞を受賞 ● ノーベル医学生理学賞に東京工業大学栄誉教授大隈良典氏が受賞 ● 熊本地震 (M6.5) 発生 ● 第5期科学技術基本計画(2016年度～2020年度の計画)として「Society (ソサエティ) 5.0」が誕生 	<ul style="list-style-type: none"> ● スーパーコンピュータの世界ランキングTop500で中国(167台)が米国(165台)を抜き初首位、計算性能分野でも首位 ● リオデジャネイロオリンピック開催 ● イギリス国王のエリザベス2世が在位満64年を迎え、歴代の英国君主で最長の在位記録 ● ドナルド・トランプ氏が、第45代アメリカ合衆国大統領に就任 ● ノーベル文学賞をボブ・ディラン氏が受賞
副会長 鱈谷 佳和氏	(株)村田製作所 執行役員 情報システム統括部 兼 SCM統括部 統括部長		
井上 治氏	(一社)電子情報技術産業協会 理事		

* 日本・世界の主な出来事は暦年単位で記載

JEITA ECセンターのあゆみ 3 (2009~2018)

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2017年 (平成29年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ECALGA標準2017年度版」を発行 <ul style="list-style-type: none"> ・IEC62090見直し結果をベースに、「生産日」「消費期限」等、2次元シンボルへの格納情報拡張およびコード128の利用に関して標準を改訂 ● ECALS辞書をValue値追加と定義の小修整のみの改訂しVer17.2として公開 ● ECALSデータ作成支援ツールをIEC62656 (Parcel Maker) をベースに新しいツールを開発し提供 ● IBIS入門者向け技術資料解説の改版 (特にパッケージ部) を発行
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 第4回JEITA/IBISセミナー (於 大阪) と第5回JEITA/IBISセミナー (於 東京) を開催 ● NTT固定電話網IP化に伴うEDIへの影響と対策 (JEITA対応方針) について、ECALGA情報技術セミナーを開催 移行ガイドラインをHPに公開
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● IBISの国際標準化団体であるIBIS Open Forum参加とIBISサミットJapanを開催、IBISサミット米国会議に参加 ● 7月に欧州の購買辞書標準化団体であるeCl@ssとCooperation Partner覚書を締結
	実証実験	<ul style="list-style-type: none"> ● 「新規設計非推奨情報」の実証実験を実施
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● IoTを中心に新ビジネス分野や新技術分野がB2B取引にどのような影響があるかを把握することを目的に調査を実施

	カテゴリー	JEITA ECセンターの活動
2018年 (平成30年)	標準改訂	<ul style="list-style-type: none"> ● 「JEITA標準化ガイドブック 2018年版」に、前版 (2016年) 以降の進捗としてJEITAとeCl@ssの提携に関する記事を掲載 ● 技術情報区分の追加に伴い、ECALGA標準 (ECM編) およびECALGA導入ガイド (技術情報交換編) を改訂 ● ECALS作成支援ツールを64bit版にバージョンアップを実施 ● Web-EDIガイドラインの見直しと改訂を行い、普及のためにガイドラインの無償配布を実施
	普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ● ECALGA標準2017年度版の発行に伴いセミナー (80名出席) を開催 ● IBISとS-parameterに関する入門者向け技術セミナーを実施
	国際対応	<ul style="list-style-type: none"> ● IBISの国際標準化団体であるIBIS Open Forumと2月IBISサミット米国会議への参加および11月にIBISサミットJapanを開催 ● 「DesignCon IBIS Summit 2019」 「IBIS Summit」 に代表者の派遣を実施 ● 欧州の購買辞書標準化団体 (eCl@ss) を訪問 (ドイツ) し交流会および欧州先進事例調査としてSAP社とSiemens社を訪問し、企業間連携における先進技術活用 (ブロックチェーン、IoT等) のヒヤリング調査を実施
	業界対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 全銀協のXML-EDI (略称 ZEDI) に関して、全銀協と意見交換を実施
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来VISION検討TFにて、テクノロジー・業界トレンド調査を2015年に続いて定点観測として調査を実施

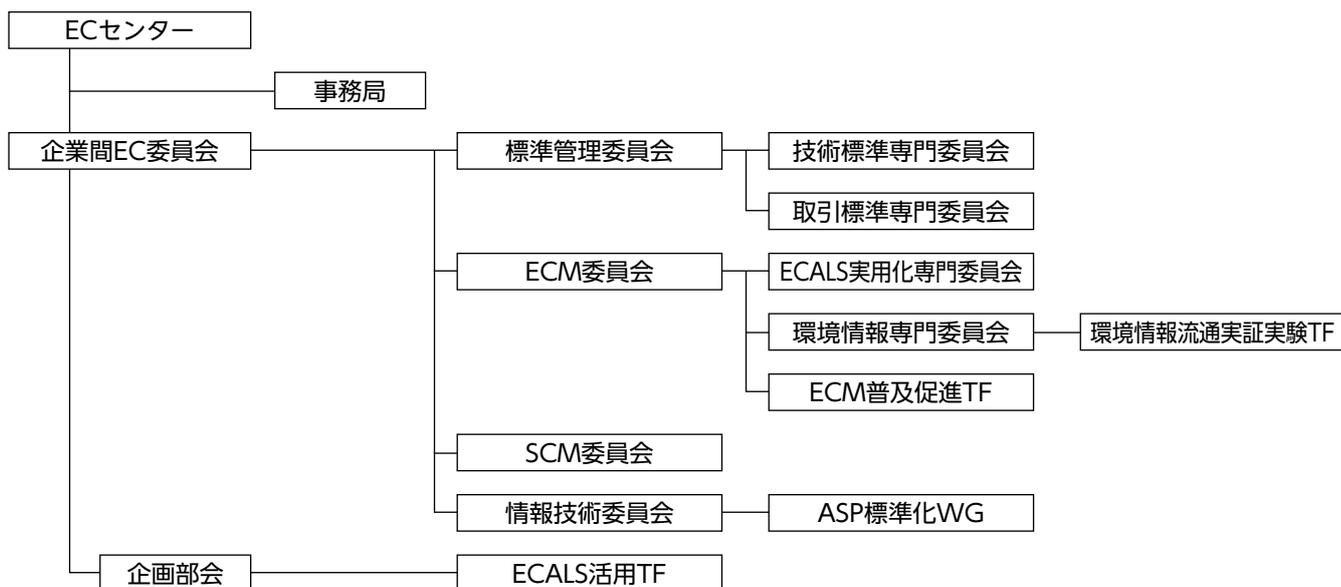
* JEITA ECセンターの活動は年度単位で記載

ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時	日本での主な出来事	世界での主な出来事
<p>会 長 鱈谷 佳和氏 (株)村田製作所 執行役員 情報システム統括部 兼 SCM統括部 統括部長</p> <p>副会長 立川 和彦氏 三菱電機 (株) 資材部 次長</p> <p>井上 治氏 (一社)電子情報技術産業協会 理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 上野動物園に赤ちゃんパンダ誕生(シャンシャン) ● 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を世界文化遺産に登録 ● 九州北部豪雨発生 ● 桐生祥秀氏が100mで日本人初の9秒98を記録 ● 日経平均株価が16日連続上昇、57年ぶりの歴代最長新記録 	<ul style="list-style-type: none"> ● フランス大統領選で、エマニュエル・マクロン氏が史上最年少39歳で当選 ● 韓国大統領選で、文在寅氏が当選 ● 世界各国でランサムウェアを用いたサイバー攻撃が発生 ● iPhone X発売 ● 長崎出身の日系イギリス人カズオ・イシグロ氏がノーベル文学賞を受賞

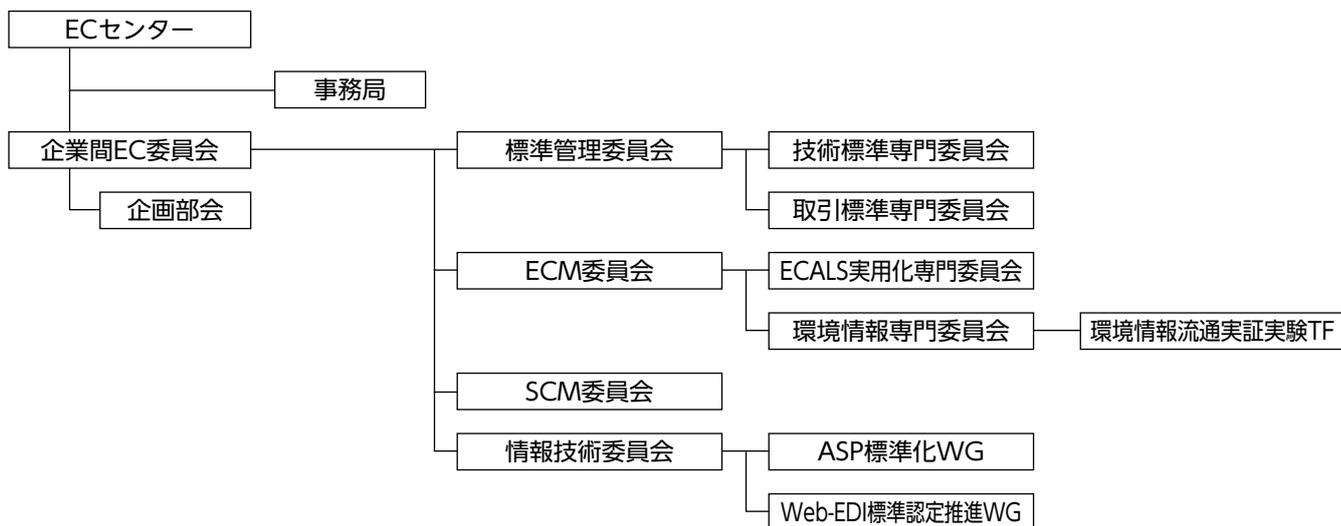
ECセンター 運営体制 ※役職名は在任時	日本での主な出来事	世界での主な出来事
<p>会 長 立川 和彦氏 三菱電機 (株) 資材部 次長</p> <p>副会長 佐伯 哲博氏 アルプス電気(株) 取締役 営業副本部長兼情報システム担当</p> <p>井上 治氏 (一社)電子情報技術産業協会 理事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 将棋の羽生善治氏と囲碁の井山裕太氏に国民栄誉賞を受賞 ● 西日本豪雨が発生 ● 大阪北部地震 (M6.1) が発生 ● フィギアスケートの羽生結弦氏に国民栄誉賞を受賞 ● テニス 大坂なおみ氏が全米オープン優勝 四大大会で日本人初 ● 北海道地震 (M6.7) により道内全域で停電(ブラックアウト)発生 ● 築地市場が83年の歴史に幕を閉じ、豊洲市場に移転 ● ノーベル医学生理学賞に京都大学特別教授本庶佑氏が受賞 	<ul style="list-style-type: none"> ● 平昌冬季オリンピック開催 ● ロシア大統領選でウラジーミル・プーチン氏が再選 ● アメリカのドナルド・トランプ大統領と北朝鮮の金正恩委員長がシンガポールで首脳会談を実施 ● FIFAワールドカップ・ロシア大会開催 ● アメリカが国際連合教育科学文化機関 (UNESCO) を脱退

* 日本・世界の主な出来事は暦年単位で記載

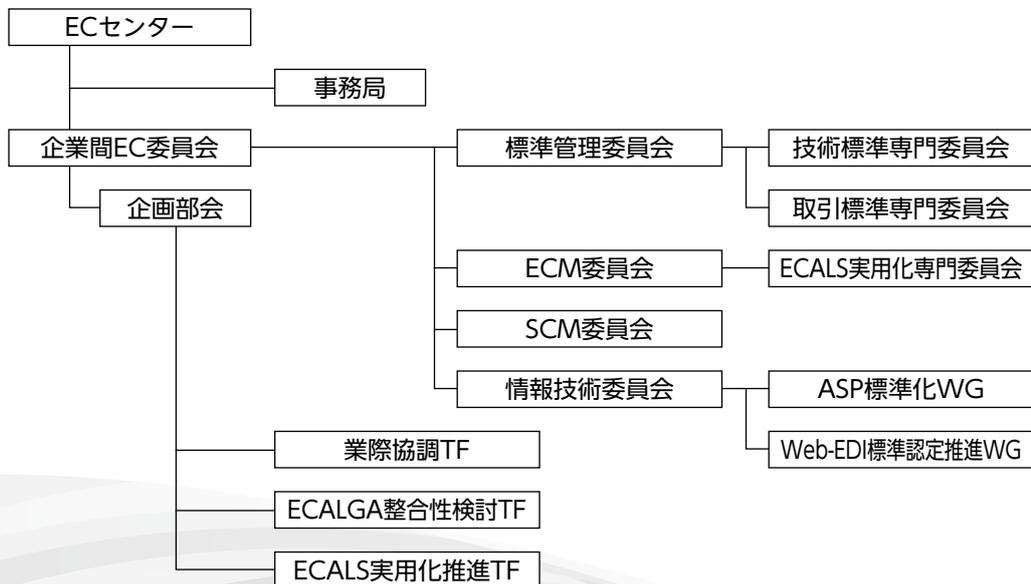
2009年



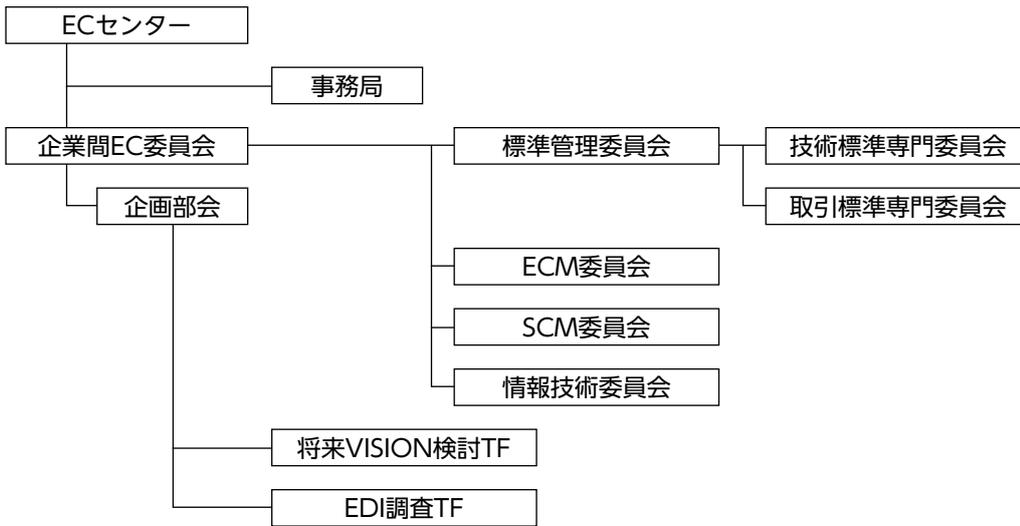
2010年



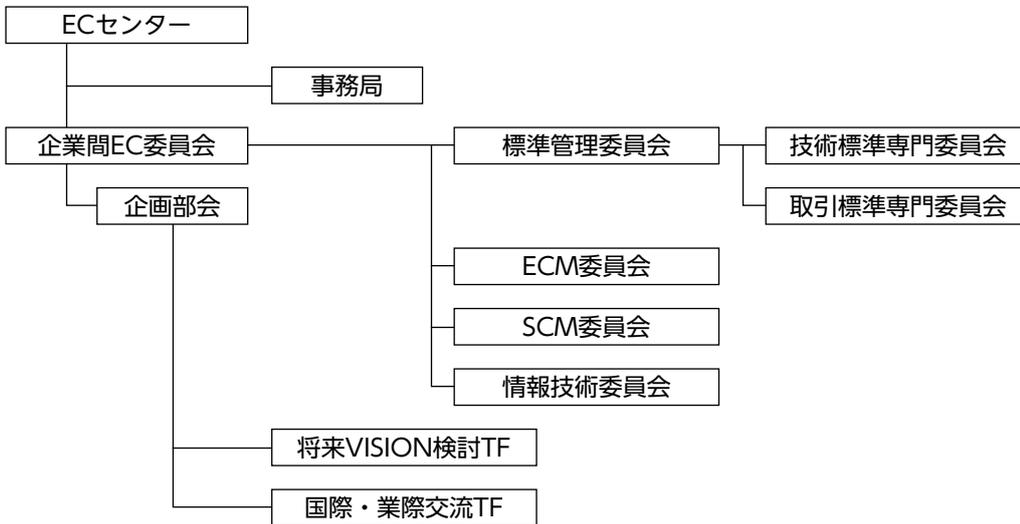
2011年
~
2014年



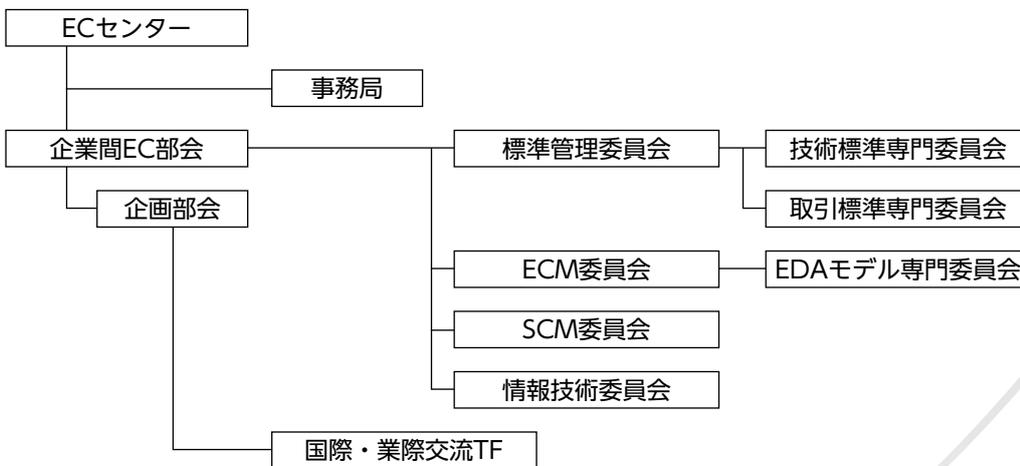
2015年



2016年



2017年～2018年



JEITA/ECALGA標準・EIAJ-EDI標準 出版物および関連資料一覧表

2019/4 現在

用途	No.	文書名 (注) 改定のある資料は、最新版のみを記載	言語	発行年	ECALGA	EIAJ	
1 標準書本編	110	JEITA/ECALGA標準 2017年度版	日	2017	○	○	
	120	EIAJ-EDI標準 2001年版	日	2001		○	
2 標準書翻訳 ・英語／中国語での理解の為に	210	Ⅷ Overseas Trade Model Ver-01	英	2013	○	○	
	220	Ⅷ 海外交易模式 Ver-01	中	2013	○	○	
	230	EIAJ-EDI Standard Version of 2001	英	2001		○	
	240	EIAJ-EDI標準 2001年度版	中	2005		○	
3 入門・導入ガイド ・はじめて利用する方の為に	310	ECALGA標準入門解説書	日	2015	○	○	
	320	EDI取引導入ガイド	日	2000	○	○	
	330	ECALGA導入ガイド (共通版)	日	2005	○		
	340	ECALGA導入ガイド 技術情報交換編	日	2014	○		
4 業務別ガイド ・特定業務の運用理解の為に	410	EIAJ-EDI標準準拠 標準納品システム導入ガイド	日	1998	○	○	
	420	納品書レス導入ガイド	日	2000	○	○	
	430	JEITA/JTA業際輸送荷札導入ガイド	日	2003	○	○	
	440	請求支払EDI導入ガイド	日	2002	○	○	
	450	請求支払EDIにおける違算発生防止ガイド	日	2007	○	○	
	460	倉庫事業者預託モデル編 (JEITA-VMI)	日	2005	○		
5 情報システム構築／利用ガイド ・IT部門／IT事業者向けガイドライン	510	EIAJ版 Web-EDI導入の手引き (入門編)	日	2000		○	
	520	メールEDI運用標準ガイドライン Version1.2	日	2007	○	○	
	530	Web-EDIガイドライン Version2.1	日	2014	○	○	
	540	ebXML手順実装ガイドライン Version2.0	日	2015	○		
	550	ASP間運用標準ガイドライン (ebXML) Version2.0	日	2012	○		
6 他標準書資料 ・他標準を理解する為に	610	CIIシンタックスルール (JIS-X7012) 解説書	日	2000	○	○	
	620	CII Syntax Rule Version3.00	英	1998	○	○	
	630	EDIFACT (EIAJ編集版)					
		PRICAT (価格／販売 1版)		日	1996		
		DELFOR (所要計画 1版)		日	1997		
		ORDERS (注文 4版)		日	1996		
		ORDRSP (注文請回答 1版)		日	1996		
		ORDCHG (注文変更 1版)		日	1997		
		DELJIT (JIT納入指示 1版)		日	1998		
		DESADV (出荷通知 3版)		日	1994		
		INVOIC (支払請求 2版) (支払請求および輸送／梱包等の情報)		日	1995		
	INVOIC (支払請求 3版) (支払請求に特化した情報)		日	1997			
	640	業際横断EDI仕様 V1.1 ビジネスインフラガイドブック		日	2012	○	○
7 関連資料 ・関連法規対応／関連技術等の解説書	710	下請法遵守マニュアル 第四改訂	日	2010	○	○	
	720	SI (Signal Integrity) シミュレーション・モデル解説書	日	2011			

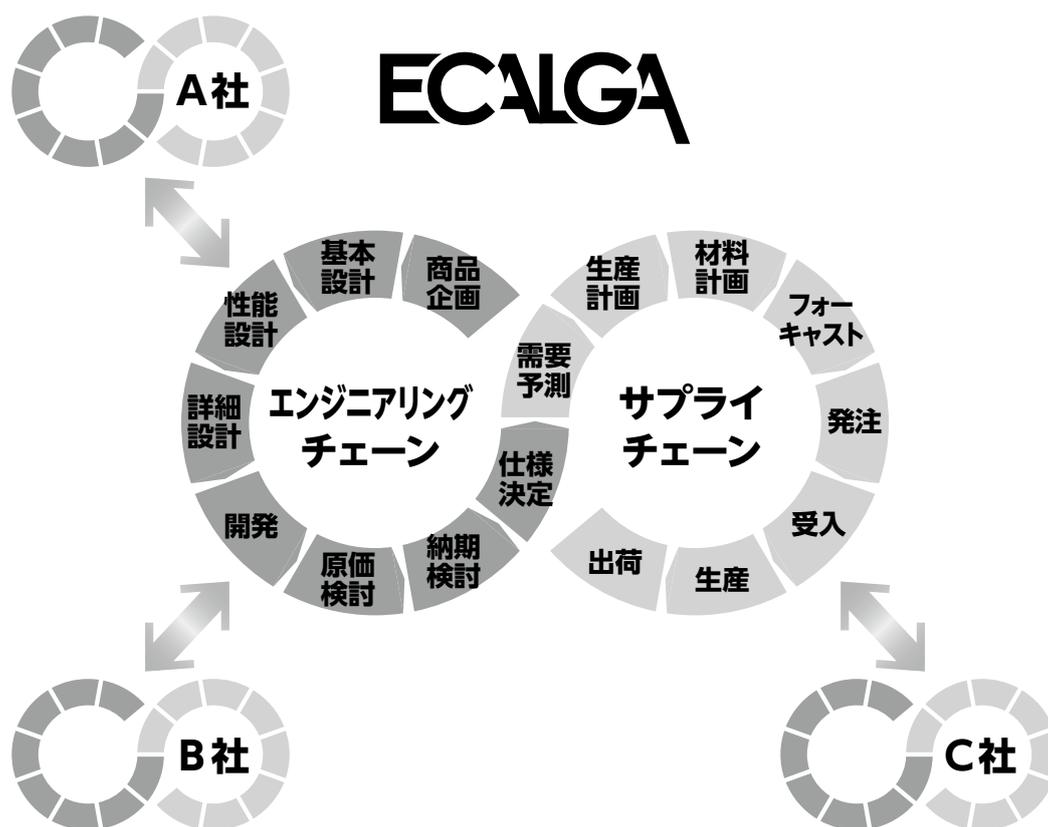
凡例：「言語」 記載している言語を表す。 [日] 日本語 [英] 英語 [中] 中国語

[ECALGA] [EIAJ] 利用している標準に関する資料 (ユーザが参照すべき資料) に○印を付記。

ECALGAとは

Electronic **C**ommerce **AL**liance for **G**lobal business **A**ctivity

全ての壁を越えて、全てのビジネスプロセスを
グローバル且つシームレスに繋ぎ、
ダイナミックなビジネス展開を可能にする
ビジネススタンダードである。





**一般社団法人 電子情報技術産業協会
(略称 JEITA)
ECセンター**

〒100-0004

東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル

Tel 03-5218-1062 Fax 03-5218-1081

HP <http://ec.jeita.or.jp/jp/>

2010年3月に東京都千代田区西神田の千代田ファーストビル南館より千代田区大手町の大手センタービルに事務所を移転しました。

主な最寄り駅 —— 各路線・各駅共に、ビル地下1階より直結

- 地下鉄「大手町駅」 **C9** 出口すぐ
 - 東京メトロ千代田線 ● 東京メトロ丸の内線
 - 東京メトロ半蔵門線 ● 東京メトロ東西線
 - 都営三田線
- JR各線「東京駅」丸の内北口徒歩5分